

創徳中学校通信



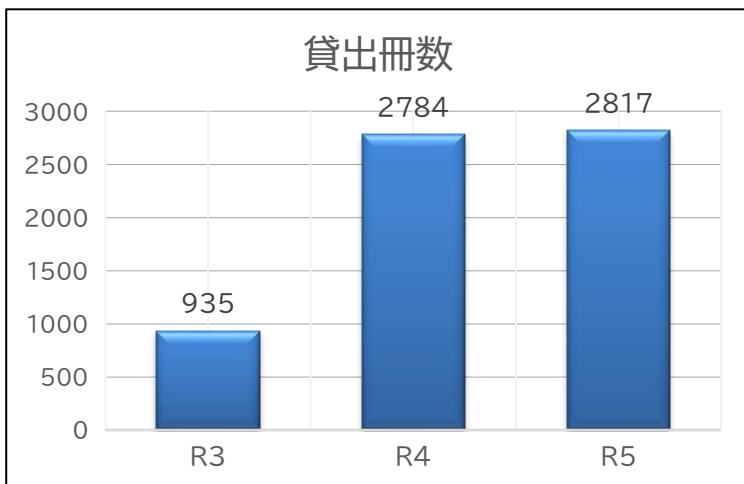
時々読書の神様が降りてきます

「創徳中学校通信 第10号」で本校の図書貸出冊数について掲載しました。それを見ると、令和4年度は令和3年度の比べて飛躍的に貸出冊数が増加しました。また、今年度は12月時点ですでに昨年度の貸出冊数を上回りました。

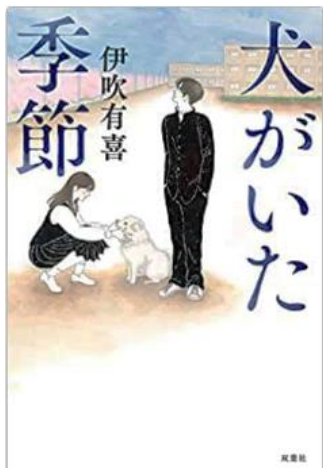
昨年度の「創徳中学校通信 第21号」では、私の読書が趣味となった経緯や読書のメリットなどについての記事を掲載しました。今回は私の読書方法について紹介したいと思います。

私のところには年に数回「読書の神様」が降りてきて「そろそろ本が読みたくなっちゃった」と私にささやきます。そんな時、私はその天の声に誘われて以前から気になっていた本を買いに本屋へ行ったり、図書室に足を運び、「おもしろそうな本ないかな」と探します。そして、読む本が決まったら読み始めるわけですが、ここからが私独特？の読書方法。数ページ読んで引き込まれるものがなければ潔く読むのをやめます。つまり、最後まで読むことをせず別の本を探しに行くのです。「何てこらえ性のない奴じゃ」と読書の神様に叱られてしまいそうですが、私は読む意欲がわいてこない本を無理して1冊読むより、「続きが読みたい」と思える本を同じ時間で2冊読んだ方が時間を有効活用できるとともに、ストレスにもならないと考えています。

参考になったかどうかは分かりませんが、あなた達にもたまには「読書の神様」が降りてきてくれることを願っています。



校長先生の
おすすめ本



『犬がいた季節』伊吹有喜 著

高校に一匹の白い子犬が迷い込んだところから始まる物語。その犬は「コウシロー」と名付けられた。学校長から命に責任を持つことを条件に飼育を許された生徒達。そのために作られた「コウシロー会」。コウシロー会のメンバーを中心とした、友情、恋愛、進路等の青春時代のきらめきや切なさを描いた連作短編集です。そして、最終話、大人になった彼ら彼女らが思い出の場所で再びつながる。昭和、平成、令和につながる感動の作品です。

かくがくねんかしだしさっすうべすと
【各学年貸出冊数ベスト10】

がっ にちじてん
※2月13日時点



1年生		
	名 前	貸出数
1		72
2		50
3		49
4		38
5		30
6		29
7		28
8		27
9		27
10		26

2年生		
	名 前	貸出数
1		53
2		50
3		40
4		37
5		25
6		23
7		21
8		20
9		20
10		19

3年生		
	名 前	貸出数
1		51
2		48
3		43
4		21
5		16
6		15
7		12
8		7
9		6
10		5

上記以外で貸出数10冊以上の生徒

学年	名 前	貸出数	学年	名 前	貸出数	学年	名 前	貸出数	学年	名 前	貸出数
1		22	1		16	2		12	1		11
1		20	1		16	2		12	1		11
1		20	2		15	1		12	1		11
1		19	2		15	1		12	2		10
2		18	1		15	1		12	2		10
1		18	2		13	2		11	2		10
1		18	2		13	2		11	1		10
2		17	2		13	2		11	1		10
1		17	1		13	2		11	1		10
1		16	2		12	1		11			

【最近あった嬉しい出来事】



♡放課後、図書室へ行ったときのこと。借りたい本のリストを持ってどれにしようか迷っている。「校長先生、何かお探しですか？」と図書委員の女の子が私に声をかけてくれました。優しい気持ちに触れて心地よかったです。ありがとうございます。

♡3年生の調理実習を見学に行った時のこと。すでに調理が終わり、ピザを食べている様子を見ながら調理室内を巡回しているとある男子生徒が「校長先生、食べますか？」と出来立てのピザをくれました。めっちゃ美味しかったです。ありがとうございます。

♡これも3年生の調理実習に関わる出来事。会議が終わったころ水谷先生が「校長先生、ちょっといいですか。」と促されて会議室を出ると、3年生の女子生徒数名が「これ食べてください！」と調理実習で作った桜もちをくれました。給食後のデザートとして美味しくいただきました。ありがとうございます。



(校長先生へ「桜もち頑張って作りました。食べてください」のメッセージ付きでした)